

## 審議会等の会議結果報告

1. 会議名	平成30年度第3回松阪市文化センター運営委員会
2. 日時	平成31年2月14日(木) 午後7時00分から午後8時00分
3. 場所	農業屋コミュニティ文化センター リハーサル室
4. 出席者名	(委員) ◎梶 吉宏 ○中西 幸男・森本 小百合・青木 昭・西村 裕世・柴田 実・海住 さつき・萩原 則子・南 昇 (◎委員長 ○副委員長) 9名出席 (事務局) 文化課榊原課長・山本主幹・村田クラギ文化ホール館長・久保主査・上野係員・和氣嬉野ふるさと会館館長・堀川飯南産業文化センター所長 7名出席
5. 公開・非公開の別	公開
6. 傍聴者数	無し
担当	松阪市川井町690番地 クラギ文化ホール 担当者 : 館長 村田 益之 電話 0598-23-2111 FAX 0598-23-2114 e-mail bunka.kai@city.matsusaka.mie.jp

### 議題

1. 平成30年度松阪市文化センター自主事業実績について
2. 平成31年度松阪市文化センター自主事業について
3. その他

### 議事録

別紙

## 平成 30 年度第 3 回松阪市文化センター運営委員会議事録

- 日時 平成 31 年 2 月 14 日(木) 19 時 00 分～20 時 00 分  
場所 農業屋コミュニティ文化センター リハーサル室
- 委員 ◎梶 吉広、○中西 幸男、森本 小百合、青木 昭、西村 裕世、柴田 実、  
海住 さつき、萩原 則子、南 昇  
※ ◎委員長、○副委員長
- 事務局 榊原 典子、山本 千秋、村田 益之、久保 直樹、上野 哲史、和氣 清章、  
堀川 幸生、7 名
- 傍聴者 無し
- 事務局 それでは時間になりましたので、始めさせていただきます。本日は何かとお忙しい中ご出席を頂きまして誠にありがとうございます。只今から平成 30 年度の第 3 回の松阪市文化センターの運営委員会を開催させていただきます。事項書に添って進めさせていただきます。それでは委員長の挨拶という事で梶委員長よりしくお願いします。
- 委員長 こんばんは。今日は特別寒いところに、みなさんお集まりいただきありがとうございます。今日は第 3 回という事ですが、このシリーズの最後の会という事でひとつよろしく願いいたします。それでは事務局お願いいたします。
- 事務局 それでは、只今から議事の方に入らせて頂きます。本日は委員 9 名の方が出席され、定数が満たしておりますので会が成立している事をご報告いたします。机の上に資料を配布させて頂きました。もし無いようでしたら事務局に申し出て下さい。事項書 1 枚と資料 1 としまして委員様の名簿が 1 枚、それから資料 2 としまして、30 年度の自主事業の報告が 1 枚裏表それから資料 3 としまして、31 年度の自主事業の報告が A 4 で 2 枚フォレストのコンサートチラシ 1 枚入れさせて頂いております。よろしいでしょうか。ありがとうございます。それでは、事項書の 3 の議題に移りたいと思います。松阪市文化センター運営委員会規則第 5 条に基づきまして、委員長が会議の議長になりますので、議事進行につきましては、梶委員長よりお願いします。

委員長 それでは議題の方に移らせていただきたいと思います。報告事項で平成 30 年度自主事業実績について、事務局お願いいたします。

事務局 では、平成 30 年度文化センターの自主事業実績の報告を行います。お手元の資料 2 をご覧下さい。まずクラギ文化ホールとコミュニティ文化センターからご報告させていただきます。まず、クラギ文化ホールですが、6 月 27 日水曜日に加羽沢美濃さんのクラシック音楽講座を開催いたしました。事業内容としましては、ピアニスト作曲家の加羽沢美濃氏を招いてクラシック音楽のレクチャー講座であり、定員 100 名に対しまして 85 名が参加されました。次に、7 月 5 日木曜日にワンコインコンサート in 松阪 Vol.13 としてマリンバの出田りあさんを迎えて開催し、578 名の入場者がありました。次に、7 月 26 日木曜日舞台裏見学会を開催いたしました。内容としては音響や照明装置等を作動しての見学会となっております。入場料としては無料で、市内の小学生を対象に募集をかけたところ、定員 40 名に対しまして、定員以上の 42 名の方が参加されました。次に、7 月 29 日日曜日に共催事業のハローキティのドリームトラベラーを開催いたしました。内容としてはサンリオの子ども向けミュージカルであり、2 回公演となっております。入場者は 1 回目が 919 人、2 回目が 783 人、合計で 1,702 人の入場者がありました。次に 8 月 23 日木曜日にワンコインコンサート in 松阪 Vol.14 としてユーフォニアムの佐藤采香さんを迎えて開催いたしました。この日は台風が接近しており、開催はできたのですが、天候の影響から入場者が 200 人と少ない結果となりました。しかし、悪天候にもかかわらず 200 人が参加してくれたという事はワンコインコンサートが定着してきていると感じました。次に、10 月 27 日土曜日に共催事業として中部フィルハーモニー交響楽団松阪特別演奏会を開催しました。指揮者の青島広志さんを迎えまして、ロシア音楽を集めた演奏会という内容となっております。入場者は 800 人となり、前年度を上回る結果となりました。次に 11 月 17 日土曜日に共催事業として中村雅俊さんのコンサートを開催し、入場者は 924 人となりました。次に 12 月 6 日木曜日にワンコインコンサート in 松阪 Vol.15 として、ヨイクという北欧の伝統歌謡をマリヤ・ヘレナ・フェルハイム・モッテンソンさんを迎えて開催いたしました。入場者は少なめの 377 人となりました。次に 12 月 23 日日曜日に共催事業として、第 8 回松阪の第九を開催いたしました。今年度はオーケストラに三重フィルハーモニー、指揮者に橘直貴さんを迎え、入場者は 1,018 人となりました。

次に農業屋コミュニティ文化センターの事業になります。8 月 3 日、4 日の 2 日間にかけて、スタインウェイピアノ演奏体験会を開催しました。こちらは各日 12 組の定員 24 組となっており、定員枠全ての参加がありました。次に 10 月 11 日・12 日に優秀映画鑑賞推進事業なつかしの映画鑑賞会を開催しました。内容

は黒澤明監督の作品を計4本、各日2本ずつ「わが青春に悔なし」「酔いどれ天使」と「羅生門」「天国と地獄」をそれぞれ上映いたしました。入場者は300人程度を見込んでおりましたが、1日目が153人、2日目が182人という結果になりました。では、嬉野ふるさと会館お願いします。

事務局 嬉野ふるさと会館ですが、2件の事業を実施しました。スタインウェイピアノ演奏体験会につきましては土曜日の部分は1組増やしまして13組、8日の日曜日は12組という事で、定員25組すべて参加いただきました。  
次の8月19日の歌舞伎・太刀の盗人の巡回公演ですが、ワークショップ等々も合わせながら考えて小学校の子らに呼びかけをしましたが、入場者としては145名となり、小学生の参加は2組があっただけでございました。これについては今後もうちょっと販売の方法でありますとか料金設定を検討しなければいけないのかなという形です。以上2件の事業をさせていただきました。

事務局 次、飯南産業文化センターお願いします。

事務局 飯南産業文化センターでございます。今年度は1事業を行わせていただきまして、9月16日の日にうたたねさんのワンマンコンサート「ほしぞらのとうげをこえて」を実施させていただきました。事業内容といたしましては、東京・神奈川を中心に活動されてみえますバンドグループ「うたたね」さんのメンバーに飯南出身の方がおみえになりまして、その方々による演奏を行っていただきました。入場者数はほぼ満席の446名でございまして、多くの方にご来場いただきまして、このグループのコンセプトである故郷・人、そして尊いものを愛するというものが来場者の方に改めて、郷土への愛着心や人と人の絆の大切さを深めていただいた、良いコンサートであったと思います。以上でございます。

事務局 ありがとうございます。最後に文化芸術団体共催事業を報告させていただきます。こちらはすべて農業屋コミュニティ文化センターで開催しました。まず最初に、4月1日日曜日に第15回宣長さん吟詠剣詩舞道記念大会、こちらは文化芸術団体共催事業としては初めての事業になります。内容につきましては松阪市の吟詠剣詩舞道連合会による発表会でございまして、内容は詩吟、詩舞、剣舞によって本居宣長の偉業を称えるものとなっております。入場者数は331人となりました。次に9月1日土曜日・2日日曜日の2日間にかけて、第8回松阪市民ギター音楽祭を開催いたしました。こちらは1日日曜日がフェスティバル部門の一般参加による独奏・重奏とコンサート部門のプロユニット・マリオンネットによる演奏を開催いたしました。こちらは1日目につきましては独奏・

重奏の方が入場者 100 人、コンサート部門がプロユニットの方が 175 人となりました。次 2 日目の方がフェスティバル部門の一般参加による合奏を開催いたしましたして、入場者数が 400 人となっております。次に 11 月 2 日金曜日第 5 回松阪市民能を開催いたしました。こちらは地元会員の能楽師による能・狂言の方になっております。今回は 5 回という節目の記念事業という事で翁という演目を実施いたしました。入場者数については、224 人ということで少なめでしたが、これは開催が氏郷まつりの前夜祭ということで、平日になってしまったという事もあり、客足が伸び悩んだという結果になったと考えられます。平成 30 年度の文化センター自主事業の報告については以上になります。

委員長 はい。それでは、今のご報告についてご質問があればおっしゃってください。

委員長 大体この表では、入場者の見込みと実際の入場者がどれだけ違っているかというところがひとつの反省点とか色々なところになると思います。まずクラギ文化ホールではワンコインコンサートのユーフォニアムですね、これは台風のせいであろうもないので。よく 200 人も来てくださったなあという事で、これはやむを得ない。その次の中部フィルハーモニーはいつもだともっと少ないんですが、青島さんというわかりやすい方で有名な方、尚且つわかりやすいプログラムという事で 800 人。これは大変良かったと思います。

事務局 アンケートでも非常に内容としても好評でした。

委員長 やっぴりお客様のニーズに合わせた曲目とかを考えないと、やりたい方が有名な曲だけ並べたって来ないですから、これはやはりお客さんのニーズと合っているとということじゃないかと思います。この 12 月 6 日のヨイク・ワンコインの 377 人は難しい事でした。我々も三重県文化会館でやったんですけど、ただ内容が北欧民族、トナカイと一緒に、内容は非常にレベルが高くて、また、伴奏の作曲家でピアニストの方が、アナと雪の女王の作曲もした人で非常にレベルが高いですよ。ただヨイクという事で皆さん親しみがないものですから。来た人はみんな非常に感心されたりしていたのですが、やはりここが難しいところで、お客さんの入ることだけやっていたらこういうものは出来ない。本当にいいもの、お客さんは少ないけど松阪の人にこういうものが世の中にあるんだとみてもらいたいという事が大事で、377 人しか参加されなかった、というより私は 377 人も来ていただいて、これらの人が非常に良かったと、いい経験をされて良かったと思います。こういった企画ばかりだとももちろん大変ですが、年に数本は、1 本か 2 本は集客よりも、いいものを提供するという事を重視して、皆さん知らな

くても新しいものを聞いてもらうという企画としては良かったと思います。これも値段が3,000円とか5,000円とかとなれば難しいですが、今回は500円ですからこれはもう関心のある方が、逆にこれくらいしか居ないという事ですけど。これくらいの方が本当にコアな方がいらっしゃるということで良かったと。第九もだんだん根付いてきたという事で。映画というのはじり貧ですか。

事務局 そうですね。今年は黒澤明さんという世界的にも有名な監督の作品でしたので、入場者数も例年より多いかなと思っていましたが、近年はだんだんと入場者数が減ってきている傾向にあります。

委員長 もうちょっと検討して、だんだんお客さんも減ってきたらやめてもいいと思うんです。別の物に変えていったらと思います。割り切った方がいいというのは、お客さんが減っているという事は関心がないという事ですから、関心が減っているものやっても全く意味がないので、そこをきちんと分析してお客様が減っているというのであれば。これはやめて逆に別のことをお考えになった方が僕としてはいいと思うんです。ずるずるマンネリでやるというのは、私は反対ですので。それから歌舞伎のことですね。どうですか。

事務局 今、小中で伝統芸能ってずいぶん教えられてて、それをなかなか観る機会がないという思いもありまして、小中の子供たちに見てもらいやすいように、またそれを経験してもらいやすいようなワークショップの形をとってやらさせていただいたんですが、来ていただいた年齢層をみると逆に高年齢の方々、その方たちにすると一幕だけしかありませんので逆に短いというお声を随分いただきました。ちょっと全体の構成の設定にミスがあったと思っております。

委員長 まったくこれはね。この結果っていうのは私はやらなくてもわかってるんですよ。要するに日曜日には子供は来ません。特に中学生・高校生とかはね、来てもらうときは先生が授業の一環としてやらない限りは来ませんよ。日曜日とか休日に親が子供を連れて来てくれるなんて大間違いですよ。だからそれは絶対今後やらない方がいい。子供に本当に観せたいのだったら、もう授業の一環で来てもらうとかしないといけません。そういうことを教育委員会と一緒に考えてやるべきです。だから歌舞伎はやっぱり私もそうだけど有名な人が出てこない限りお客は来ないんですよ。三重県文化会館は去年片岡愛之助をやったのですが、愛之助さんは藤原紀香さんの結婚で世間でも話題になっているからお客さんも来たんだろうと思います。でも完売はしてなかった。僕も驚いたのですがいわゆる通の人が来なかったんです。歌舞伎の通は愛之助さんとかだと来な

いんですよ。やっぱり伝統のある人には来るのですが、愛之助さんは伝統のあるというよりは新しい人だから、通の人にとってはああいう方は人気がなく、今年には行かないというのが、よそでもあったようですね。でも逆にテレビとか観ている人のような新しい人が来てくださったので、これは愛之助さんが悪いとかそういう事ではないですが、そういった傾向があるという事です。特に歌舞伎の人はご年配で詳しい方はいらっしゃるので、そういう意味では今回嬉野で公演した歌舞伎は全く中途半端ですのでこういう事はやらない方がいいです。それから、うたたねコンサートも非常に良かったですね。これだけ沢山いらっしゃって。文化芸術団体共催事業のギターの方はいかがですか、反省点ありますか。

事務局 例年から日程を少し変更した事もあってプロのコンサートが入らなかったという事がありました。アンケートとして多かったのが、合奏が一番人気があってプロのコンサートと同じ日が良かったという意見が多かったので来年はそのようにしようと思っています。

委員長 日程などは非常に微妙でしてね、もう一つ松阪の能もそうですね。

事務局 そうですね、例年氏郷まつりが11月3日にありまして、その前夜祭として11月2日に開催していました。今回はこの日程が平日でしたので客足が減る事になったと思います。

委員長 私たち三重県文化会館も、去年の津祭りの時にあててやっぱりこけましたね。まわりの事業、行事をちゃんとみて日程を決めていかないと集客という点で難しいと思います。

事務局 市民能の会議にも出席させてもらったのですが、来年はちょうど前夜祭でも土曜日となるので大丈夫かと思うのですが、それ以降についてはどうするのかという話になっており、今まで通りあくまで前夜祭として前日にやるのか、関連事業という事で別の休日に設定するのか、またそこは能の会議の中で検討している最中です。

委員長 まあ色々反省してよりいい物にもっていかないといけませんね。他にご意見聞いていきます。それでは、最後のところで思いつかれたらご意見いただきたいと思います。報告事項ですから議決はいりませんので、次に移らせていただきます。平成31年度の自主事業のところをお願いいたします。

事務局 はい、では平成 31 年度の文化センターの自主事業の予定につきまして報告させていただきます。まずはクラギ文化ホール及び農業屋コミュニティ文化センターの報告をさせていただきます。まずクラギ文化ホールですが、こちらお手元にチラシの方がありますが、フォレスタコンサート in 松阪を 5 月 16 日木曜日に開催を予定しております。事業内容としては、BS 日テレ「BS 日本・こころの歌」にて編成されたコーラスグループ「フォレスタ」によるコンサートです。年配の方に非常に人気という事をプロモーターから聞いておりまして、特に 60 後半くらいの方から知名度があるというグループとなっております。開催日を平日に設定してあるのですが、これについてはプロモーターとも相談いたしまして、同様に各地でフォレスタのコンサートやっており、一番新しいところでは三重県文化会館で 12 月にコンサートを開催しているのですが、プロモーターより各開催場所別のデータを見たところ、年齢層が高いことから逆に平日の方が入りやすいという傾向が強かったので、今回は平日開催という事で設定しました。入場者見込みは 900 人という事で設定させていただいております。今日が丁度ファミリー倶楽部会員の先行予約の締切日として、現在 107 人先行予約を受け付けております。一般発売としては、2 月 22 日、来週金曜日から発売となっております。次に 7 月 10 日水曜日にワンコインコンサート in 松阪 Vol.16 を開催します。ヴァイオリンの中村太地さんを迎えて行う予定ですが、ワンコインコンサートについては内容の詳細が決まっておりませんので、またこちらは決まり次第回の会議等で報告の方を行っていきたくと思います。入場者見込みは例年通り 550 人と設定しております。次に 7 月 25 日木曜日に舞台裏見学会を開催します。こちらは例年開催しているものですが、先程の平成 30 年度報告事項にもありましたとおり、対象は市内の小学生及び保護者を対象といたしまして、オーケストラピットの上下であるとか音響室・ピンスポット室・調光室の見学で、実際に操作体験というのをしてみるといった催し物となっております。こちらも例年どおり定員は 40 人で、入場者見込みも 40 人としています。次に 8 月 17 日土曜日に親子向け事業として、共催事業きかんしゃトーマス ソドー島のたからもの、の開催を予定しております。こちらは 2 回公演となっております。5 年間で 30 万人以上動員したミュージカルという事でトーマスとパーシーが、ステージを駆け巡ると聞いております。こちらは 2 回公演となっており、入場者見込みは 1,600 人と設定しております。次に 8 月 23 日金曜日にワンコインコンサート in 松阪 Vol.17 バリトンサクソ 本堂誠さんの方を迎えてコンサートを開催します。こちら詳細は決まり次第後日ご紹介させていただきます。入場者は 550 人を見込んでおります。次に 9 月 1 日日曜日に夏井いつきさんの句会ライブを開催します。こちらは前回の会議でも報告いたしましたが、毎日放送制作番組「プレバト!!」に出演されている、著名な俳人、夏井いつきさんによる講演



になります。講演といっても、前回報告いたしましたとおり参加者全員が俳句を作って全員が参加してもらうような形で、鑑賞系というよりは、市民参加型の普及系の事業に近いような形式になっております。こちらの方は夏井先生の俳句選定時間の関係上、入場者定員を 950 人に制限して開催する予定です。特に人気があると思いますので、入場者見込みとして 900 人と設定しております。次に 10 月 11 日金曜日にワンコインコンサートで箏になっております。フルネームで今野玲央さんと資料には書いてありますが、実際のチラシ等の表記は L E O さんという事になっております。このワンコインコンサートは三重県文化会館さんと連携してやっている事業となり、三重県文化会館さんの開催される事業の中から松阪市開催のものを選定するのですが、以前の運営委員会の意見で和楽器の演奏が少ないという事が意見としてあがりましたので、今回箏という丁度目的に合う物がありましたので、選ばせていただきました。こちらも 550 人を見込んでおります。次に 11 月 16 日土曜日にこちらも例年やっているものですが、共催事業として中部フィルハーモニー交響楽団の演奏会を予定しております。先程の平成 30 年度の報告でもありましたが、好評であった青島広志先生がもう一度指揮をしていただけるという事で中部フィルハーモニーさんから聞いております。内容につきましてはまだ未定です。かなり満足度が高い公演でしたので、次回は口コミ等で広がっていくかなとも思いますが、入場者見込みは一応昨年同様の入場者人数で 800 人を見込んでおります。ただしもう少し増えるかなとは思っております。次に 12 月 15 日日曜日に第 9 回松阪の第九になります。こちらは例年定着してきた事業になりまして、今年は伊勢管弦楽団をオーケストラに迎えて開催を予定しております。入場者としましては、例年だいたい 1,000 人を超えておりますので、入場者見込みは 1,000 人を予定しております。次に最後、2 月 14 日金曜日に加羽沢美濃さんのクラシック音楽講座を開催する予定です。こちらも三重県文化会館さんとの連携事業になっております。2020 年はベートーヴェンイヤーという事にして、作曲家のベートーヴェンについての講座を内容としては考えております。こちらも詳細はまだ具体的には詰めてはおりませんので、また決まりましたらご報告いたします。前回同様定員 100 名で、一応見込みとしては 65 名を見込んでおります。次に農業屋コミュニティ文化センターです。まず最初に 8 月 8 日と 8 月 9 日木金とにかけまして、スタインウェイピアノ演奏体験会をおこないます。こちらも例年開催する事業で、こちらはそれぞれ各日 12 組の方を予定しております。次に先程も話題にのぼりましたが、優秀映画鑑賞推進事業なつかしの映画鑑賞会という事で開催日は 10 月か 11 月どちらかで、予定をしているのですが、現時点で未定です。現在文化庁に申請中にして、内容も今選定をしているところです。入場者数は去年の事を考慮しまして、200 名を見込んでおります。それではふるさと会館さんよ

ろしくお願いします。

事務局 ふるさと会館につきましては、多くの行事をつくらせていただきました。ひとつは今まで例年通りやっておりますスタインウェイピアノ演奏体験会です。土曜日については13組、日曜日については12組という形にして、極力応募をいただいた方々に沢山出してもらえるようにさせていただきました。普及系と鑑賞系の事業については、基本的には三重テレビさんと共催をしながら11月に吉本新喜劇の爆笑ライブを開催する予定です。資料では11月16日になっているのですが23日で開催日を調整しております。お笑い野球教室、吉本流コミュニケーション講座につきましては近年ふるさと会館は貸館を中心に行ってきたという部分もありまして、使用されるお客様が固定化してきている傾向が随分強くございまして、その辺も含めましてなるべく会館にまず足を運んでもらえるという機会をつくろうという形で企画しました。まず8月8日のお笑い野球教室では、多目的ホールとグラウンドを使用して、子ども達と野球教室をしながら、コミュニケーションを進めていくという形になります。次の9月14日の吉本流コミュニケーション講座につきましては、一応素人の方々6名くらいと考えておりますが、そこで即興漫才というものを学んで頂いて、大ホールについては開放するような形で即興の漫才を発表して頂く予定としております。鑑賞系の事業につきましては、先程言いましたように三重テレビさんと共催しまして、新喜劇と爆笑ライブを行うような予定でございます。次に体験系の事業ですが先程もお話しをしましたように、なかなか小学生等子ども達とホールというのが繋がっていない部分がありましたので、体験講座をしながら子ども達と会館を繋げていこう、きっかけを作ろうという事で、1番目の楽器を作ろうでは横笛を作っていくというのを行います。2番目の色を楽しもうについては、嬉野の文化協会という物がございまして、その写真の方々共同しながら、ピンホールカメラで夏の工作に近いような形のものになります。3番目の歴史文化を知ろうについては、冬に向けて嬉野の博物館を上にも併設しておりますので、その事業を合わせ持つ様な形で土器作りというものをやりながら、なるべく会館と地域の方々が繋がるような形で、事業を展開できないかというような形で考えております。以上です。

事務局 すみません、飯南産業文化センターでございます。来年度は1事業を実施させていただきたいと思っております。本年度と同様に飯南産業文化センターホールの音響や照明等をおこなっていただいております、ボランティアスタッフ団体のA&Lさんに委託事業として、実施をおこなっていきたいと考えております。内容につきましては、和太鼓グループさんの団体と地元若者音楽グループの自主公

演を考えております。和太鼓グループさんにつきましては、今後出演を進めていきたいと考えておまして、市内でも飯高清流太鼓さんとか、和太鼓響座いなせ組さんとかおみえになりますので、又情報とか相談なり又出演もお願いして今後考えていきたいと思っております。地元の若者音楽グループの茶くらダイナミックスというグループがあるんですけども、このグループが新しいサウンドも奏でておりますので、伝統ある和太鼓との音色と合わせて色んな時代の方に楽しんでいただきたいと考えております。開催時期は9月中旬頃で入場者数は約250人を想定しております。以上でございます。

事務局 最後に文化芸術団体共催事業の方に移らせていただきます。こちらは全て農業屋コミュニティ文化センター開催予定です。まず4月7日日曜日に第16回『宣長さん』吟詠剣詩舞道大会がございます。これは昨年始めて開催しました詩舞道大会でして、内容としましては吟剣詩舞を愛好する会員が本居宣長の遺した「漢詩、和歌」を詩吟、剣舞、詩舞で表現し、本居宣長さんの偉業を称える大会となっております。入場者見込みとしては300人を見込んでおります。次に9月7日、8日土日にかけまして第9回松阪市民ギター音楽祭の方を予定しております。こちらは先程日程の事もあったのですが、9月7日土曜日のフェスティバル部門で一般参加の独奏・重奏を予定して、8日の日曜日の方に一般参加による合奏その後にコンサート部門の演奏を予定しております。初日7日の方が入場者見込み150人、2日目の8日の一般参加による合奏が350人、コンサート部門に関しては、200人の方の入場者見込みを予定しております。次に10月5日土曜日永遠のスクリーンミュージックVという事でこちらは、ピアノ、声楽ソロ、フルートの3団体の合同による開催になります。内容としまして懐かしいメロディ、耳馴染みの名目を3団体さんが演奏されるという事になっております。こちらは昨年に行っていないのですが、だいたい隔年で開催されていまして、平成29年では439人入場者がありました。今年も入場者として、400人くらいを見込んでおります。次11月2日土曜日第6回松阪市民能の開催を予定しております。こちら先ほど話題にあがりましてけれども、今回は実施日が土曜日という事です。入場者数は多少回復するかと思いますので、入場者は250人を見込んでおります。平成31年度の自主事業の報告は以上になります。

委員長 それでは今のご報告に、ご質問がないですか。

委員 クラギ文化ホールの11月16日の中部フィルさんなんですが、チケットが学生1,000円となってまして、今年のをみると高校生以下となっているのですが、年齢はどうなるんですか。

事務局 一応これで聞いているのですが、例年チケットの額が違ったりしますので一応参考として記載しました。まだチケット代金までは確定しておりませんので、学生の範囲は大学生以下なのか、高校生以下なのか。前は大学生以下でしたが、今年に関しては今から詰めていく話だと思います。

委員 大学生の子もお金がないしね。

事務局 そうですね。おそらく学生の範囲に関しては昨年と同様かなと思っております。

委員 あと嬉野ふるさと会館さんのが、面白いのがいっぱいあって、全部行きたい感じなんですけど。この野球教室は外でされるんですよね。野球だから。

事務局 グラウンドがすぐそばにありまして、そこは夏場の時期ですので多目的ホールも、言葉の何やかやのやりとりの時とかにホールを使ってという形に。

委員 8月8日ですね。

事務局 はい。

委員 台風シーズンだと思うんですが、雨が降ったらどうなるんですか。

事務局 雨が降った場合は、グラウンドじゃなくて多目的ホールの中でというような形で。

委員 カツラギさんは私もちょっと一緒にイベントをしたことがあるんですけど、とても面白いので。

事務局 はい。元野球部の。

委員 双子の。

事務局 はい。双子の。

委員 あとその下の吉本流コミュニケーション講座のイメージがよくわからないんですけども。高くて、教えてもらってことですか。

事務局 はい。一応まず教えてもらって、そこで半日かけてとりあえず、即興の漫才を一応いろんな形のをまずやっていただいて、それで昼から逆に舞台、大ホールの方で発表していただく。舞台のその部分については開放にするのか有料にするのかまだ検討中ですが。

委員 吉本さんがこういうのがあって、全国回られてるわけですか。

事務局 今春日井市で、そういうものをおられるのがあって、職員さんの研修みたいなやつに入っておられるようなものなんですけど、一般の公募の形でそういう漫才をやってみたい子達、大人の方達も含めて声をかければという風に今思っています。

委員 吉本さんこういうのを他にもやっていますけど、あわよくば吉本に入りたいみたいな人が参加する、結構出るかどうかで一回テストみたいなのがあってというのがあったと思うんですけど、これはもうみんなですか。

事務局 基本的にはみんなです。先着という形になろうかと思うんですけども、そこで受け付けるつもりでおります。

委員 そうなんですか。なんか凄いですね。

委員 モノ消費からコト消費の考えですね。

委員 あとひとつ。文化芸術団体さんが10月5日の永遠のスクリーンミュージックの3団体さんというのが、これはどういうふうな方ですか。

事務局 市内の文化芸術団体です。文化芸術連絡協議会というものがございまして、そこに加盟してらっしゃるピアノの部会と声楽の部会とフルートの部会、その3団体の合同の開催になります。

委員 わかりました。はい。以上です。

委員長 他に何かございませんか。

委員 ありません。

委員長 それでは、ないようですので。お願いします。

事務局 そうしましたら、議題の 4 という事でその他になるのですが他何か。最後になりますので。ご意見とかよろしかったですか。

委員長 意見とかじゃなく情報ですけども。皆さんご存知ですかね、伊勢の観光文化会館。指定管理制度となっているのですが、今までずっとスコルチャという赤福さん中心でアリーナをやっているところがやっていたんですけども、今回はケイミックスという東京の会社がとりました。これは三重県の指定管理、うちもそうですが、県外のしかも民間の団体がとるのが初めてなんです。ですからそこがどうなるのか。良くなるのか、そうでもないのかというところが、非常に興味があるところです。ただ伊勢はですね 4 月から改修工事、耐震化によって 9 月まで使えないんですよ。だから 9 月からになると思うんですが是非どうなるか、ガラッと今までとは変わるとお思いますので、三重県で初めてのいわゆる民間の会社がとったということです。ただこのケイミックス。ホームページでご覧になるといいですが、全国ずいぶんいろんなことってますよ。20 館くらいとっているのかな、かなり実績のある会社であります。それと同じくですね、久居のホールがあればいつできるのでしたっけ、今年の 9 月でしたか。

事務局 いつですかね、詳しくはこちらでは把握してないのですが。来年だったかとお思います。

委員長 それからフォレスタが平日の昼間開催なんだけども、これは僕はいいんじゃないかとお思います。これもやってみないとわからないんですけど、これに来られる方は年配の方多いんですよ。年配の方はワンコインと一緒に昼間の平日にやるのが、一番出やすいんですよ。ですから、これがいいんじゃないかなとお思います。これは実際やってみないとね。

でもこういうのは、トライアルしてみて東京でもかなり平日の昼間のコンサートが増えているもんですから、主婦の方もお昼が出やすいですよ。夜だと家の料理を作らなければならないし、土日はまた家族がいるし。子育ての終わった女性とか、定年ご夫婦とかというのは、やっぱり平日の午後が一番出やすいとお思います。まあひとつやってみたいなとお思います。他に何か。

委員 フォレスタとか今までにない斬新的な内容を考えてもらいまして、非常に楽しみなんですけど、できたら何か主体じゃなくして周りからやられている様子を伺える機会をですね作っていただけたら有難いなとお思います。そこでちょっと

お金を取って正式に参加者の方に還元してあげるとか逆にね、何かそんな事されたらいいんじゃないのかなと。

事務局　すごいです。また色々教えて下さい。

委員　見たいです。

委員長　あと何かございませんか。

委員　ワンコインコンサートのチラシなんですけども、あれいつも決まったフォーマットじゃないんですか。

事務局　チラシの方はですね、三重県文化会館さんと確認しているんですが、おそらく決まっています。

委員長　フォーマット決まっているというか、パターンが決まっているんです。

委員　さっきのヨイクのワンコインコンサートのチラシがいつものワンコインコンサートっぽくなくて、すごく違う感じだったので、別に悪いという事ではないのですけど。

委員長　パターンがね、一応一目でワンコインとわかるようになっています。

委員　加羽沢さんのとかワンコインとか何かですか。

委員長　加羽沢さんはワンコインではないです。

事務局　シリーズが違います。

委員長　シリーズが違うので、加羽沢さんは講座なんです。

委員　シリーズだったら解かるような感じになっているのかなと思いました。

委員長　そのようになっているのですが、もう一遍見直します。

事務局　比べられたのですか。

委員 ヨイクはすごく違いました。すごく北欧っぽくてそれはそれで、良かったのだけでもワンコインと気づかなかったんです。

事務局 フォーマットは似ているんですけども北欧風に寄せてはあると思います。北欧民謡なので、そんな雰囲気は出しています。

委員 全然違って、ワンコインと気づかなかった。

委員長 一パターンが載っているの。他に何か。じゃあどうぞ。

事務局 はいそれでは失礼します。みなさんにご協力頂いております文化センターの運営委員会ですけれども、任期が2年という事でこの3月31日をもって任期満了となります。2年間に渡りご協力頂きまして、本当にありがとうございました。色々な委員さんから意見を頂きまして、なかなか委員さんの思いに添えるような活動もできてこなかった所も多いにあると思いますけれども、これで退任される方も、引き続き委員さんを受けて頂く方につきましても、今後とも文化センターの運営に関心を持って頂きまして色々な意見を頂けたら幸いだと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。また、これは関係ない方もみえるのですが、平成31年度の第一回目の運営委員は先程説明させて頂きました平成31年度自主事業の終わっている部分もあると思いますので、実績と詳細の報告をさせて頂きながら、元号が変わってきますが2020年度の自主事業の候補について、みなさんの意見を取り入れながら、どんな演目をやるか考えていきたいと、協議をしていきたいと思っております。それからまた、先の事でこれも関係のない方もみえてしまうのですが、平成31年度の第1回の運営委員会の日程の方を決めさせていただきたいと思っております。例年6月に開催しておりまして、事務局の方で候補日を選定いたしました。毎回木曜日にさせて頂いておりますので、6月6日の木曜日、その次の週の6月13日の木曜日で考えているのですがいかがでしょうか。

委員長 私は6月6日、都合が悪いです。

事務局 了解しました。

委員長 13日だったらOKです。

事務局 13日だったらOKですか。そうしましたら6月13日の木曜日のまた19時から



こちらのコミュニティ文化センターのリハーサル室で開催をさせていただきます。  
又変更等ありましたらご連絡させていただきます。事務局からは以上です。  
それでは長い間ありがとうございました。これで運営委員会を終了させていただきます。  
ありがとうございました。